


【LB7W-BX】 H7 6000k 20w/20w 適合車種：BMW '15～'17 S1000XR

警告

- 取付けは取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 取付け前に必ずバッテリーのマイナス側のターミナルコードを外して、キーOFFである事を確認してください。
- LEDチップには触れたり汚さないでください。汚れの付着は熱溜まりによるLEDチップの焦げの原因となります。
- 本製品は精密機器ですので取扱いには充分ご注意ください。落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。誤った取扱いは故障の原因となったり、怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- **本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。**分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 点灯中のヘッドライト内のLED発光を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にレンズに水をかけないでください。急な温度変化でレンズやLEDバルブの破損の原因となります。また、LEDバルブ本体と後方のヒートシンクや、コントローラーユニットは高温になりますので触らないでください。

注意

- 本製品は、直流(DC)12v専用です。必ずDC12vを電源とした配線を厳守してください。
※小排気量車に多い交流(AC)点灯式ヘッドライト車両には対応致しませんので絶対に取付けしないでください。
- 本製品は12Vオートバイ専用となっておりますので四輪自動車への使用はできません。また、適合車種以外のオートバイに使用した場合、光軸が出ず車検不合格になる場合があります。
- 本製品は適合車種のHiビーム側への取付けを前提として設計された専用品となっております。Loビーム側への装着は、No.65040【LB7-BX】Loビーム専用品をご使用ください。
- 紙や布で覆ったり燃えやすい物の近くで点灯させないでください。火災や異常加熱を引き起こす恐れがあります。また、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないでください。
- 通電または点灯した状態でヘッドライトへの取付けは行わないでください。故障や火傷の原因となります。
- 本製品は生活防水ですが完全防水ではありません。コントローラーユニットから出ているカプラーはビニールテープや自己融着テープなどを巻くかコーキング剤などで防水処理をしてください。必要以上に水で濡らす事は避けてください。
- 高圧洗浄機による洗車を行う際は本製品に直接高圧洗浄が当たらないようにしてください。
- LEDバルブやコントローラーユニットを落としたり、強い衝撃を与えるなどしないでください。破損や性能の低下、寿命を縮めるだけでなく、ケガの原因にもなります。
- LEDバルブの組み付けには、この  **シリコングリス** マークで示した箇所に必ず付属のシリコングリスを塗ってください。
- 防水冷却ファンを覆い隠さないでください。ファン後方には吸い出した空気が流れる十分なスペースを確保してください。
- 防水冷却ファンには取付け時の向き指定があります。必ず丸いシール面を外側に向けて取付けてください。
- ネジ部の緩み防止にネジロックをご使用ください。また定期的な増締めを行ってください。
- 取付けは専門知識と技術が必要です。熟練したメカニックのいる指定整備工場などで行ってください。
- ご使用前に必ず光軸の調整を行ってください。対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。
- **本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。**初期不良の場合も同様です。
- 取付け作業中または使用中に少しでも異常を感じたら、ご購入の販売店または当社サービス課までお問い合わせください。

車検適合の記載について

本製品は車検対応品として販売しておりますが、これは最高光度と色温度についてです。製品の取付け後は必ず、LED(新光源)に対応した検査機にて光軸調整を行ってください。光軸調整不良や経年劣化によるライトレンズの汚れや曇り、擦り傷、灯体内リフレクター部メッキの剥がれ、純正以外のヘッドライトに使用した事による車検落ち、整備不良について当社は一切の責任は負いません。またLEDバルブの取り付け角度の不具合による検査落ちにはご注意ください。

仕様

- 定格電圧…DC12V
- 消費電力…20W/20W
- 色温度…6000k
- 使用LED…CREE社製 XLamp XP-L LEDs
- 発光部のメーカー型式…LB7-KN

製品の主な特長・仕様

- **車検対応!**
本製品は車検対応品です。車検適合基準の光度15,000カンデラに対して十分上回る光度を有しております。添付の日本車両検査協会発行の成績書はKawasaki Ninja1000のHiビームにて測定したH7バルブの検査結果です。
- **長寿命!**
ノーマルのハロゲンバルブはもちろん、H.I.D.より更に長寿命です。
- **省電力設計!**
消費電力は20wですので、一般的なH7ハロゲンバルブ(12v 55w)より省電力です。
- **信頼のCREE社製LED採用!**
発光体には耐久性、信頼性の高いCREE社製XLamp XP-L LEDsを使用しています。
- **Hiビーム側専用設計!**
Hiビーム側に装着する事でLoビームが2灯点灯します。
- **いきなり明るい素早い点灯!**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。またHIDのように徐々に発光色が変化する事はありません。
- **バルブ切れ警告対策!**
キャンバスデコーダー装備でバルブ切れ警告表示が発生致しません。
- **防水冷却ファン採用! 安心の冷却システムで常に明るい!**
LEDで発生する熱をロスなくヒートシンクに伝えて防水冷却ファンで冷却する事で長時間連続点灯しても熱の影響を受ける事無く20wのフルパワーで明るい光が持続します。(下図参照)

LEDチップから発生した熱は

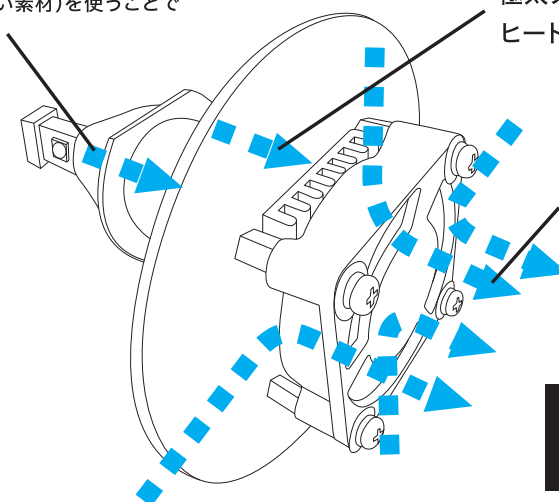
極太アルミ無垢材に移動

※太い素材(断面積の広い素材)を使うことで

熱伝導性が良くなる

極太アルミ無垢材から

ヒートシンクに移動



ヒートシンクへ到達した熱を
防水冷却ファンで放出

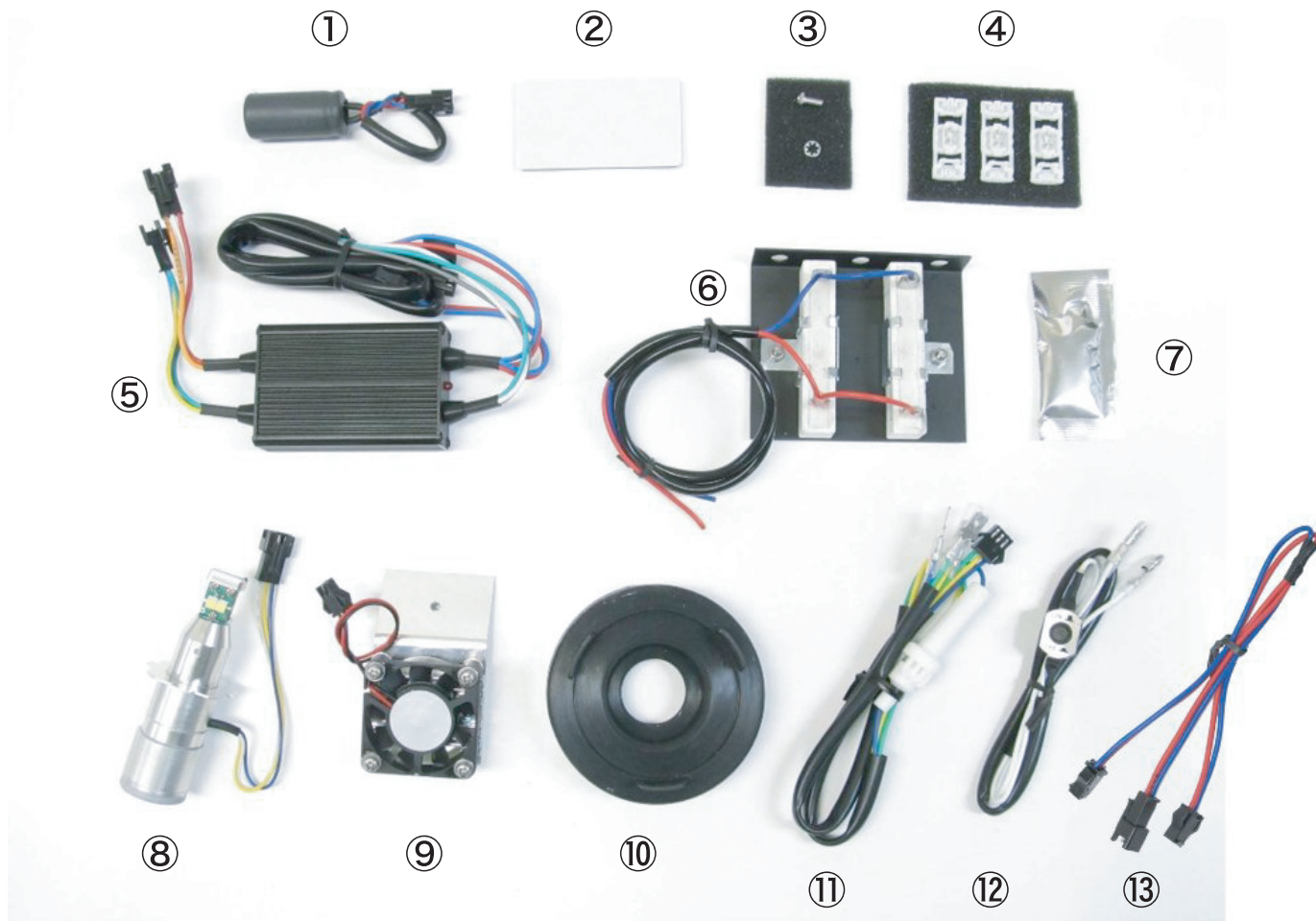
ファン後方は通気性の良い状態
にて使用してください。
障害物で塞がないようご注意ください。

- **入力電圧変化による光量変化がほとんどない!**
本製品は、入力電圧が1v下がっても光度がほとんど落ちない設計となっております。当社測定において入力電圧10v時の高度は12v入力時と比べて2.5%ダウンと僅かなので、電圧が低くなった旧車でも車検に合格する事が可能です。

部品表

※取付け前に不足が無い事と破損した部品が無い事をご確認ください。

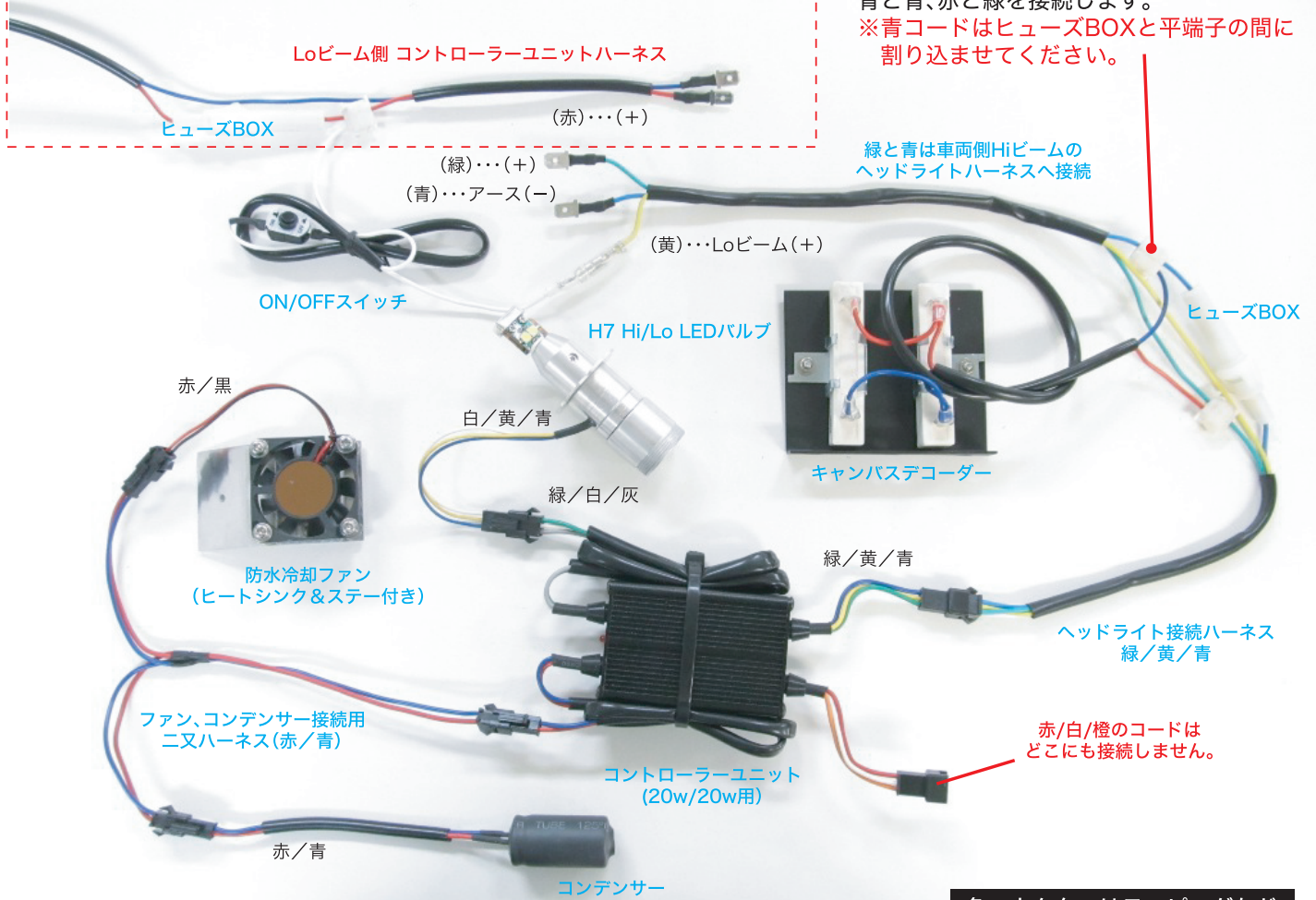
- | | | |
|---------------------------|-------------------------|------------------------|
| ① コンデンサー × 1 | ② 両面テープ × 1 | ③ 3x8mmネジ&歯付ワッシャー × 各1 |
| ④ エレクトロタップ(白) × 3 | ⑤ コントローラーユニット(20w用) × 1 | ⑥ キャンバスデコーダー × 1 |
| ⑦ シリコングリス × 1 | ⑧ LEDバルブ本体 × 1 | ⑨ 防水冷却ファン × 1 |
| ⑩ 防水ゴムキャップ × 1 | ⑪ ヘッドライト接続ハーネス × 1 | ⑫ ON/OFFスイッチ × 1 |
| ⑬ ファン、コンデンサー接続用二又ハーネス × 1 | | ● 車両検査協会成績書 × 1 |



配線図

スイッチの白線とLoビーム側コントローラーの赤線(+)をエレクトロタップで結線
 ※ヒューズBOXと平端子の間に割り込ませてください。
 ヒューズBOXとコントローラーの間に割り込ませると過電流でヒューズが切れます。

キャンバスデコーダーは
 ヘッドライト接続ハーネスへ
 エレクトロタップで割り込ませます。
 青と青、赤と緑を接続します。
 ※青コードはヒューズBOXと平端子の間に
 割り込ませてください。



※コントローラーユニットは製造ロットにより配線の出る場所や、インジケータランプの場所が画像の物と異なる場合があります。配線図に示した配線色を優先して各部品を接続してください。

各コネクタはテーピングなど防水対策を行ってください。

LEDバルブの取付け方法【'15~'17 S1000XR】

※Loビーム側の画像を使用しておりますが、Hiビーム側も基本は同じです。一部S1000RRやS1000Rの画像を使用しています。

●取付け準備として丸印の2箇所のネジを外して黒いカバーを車体から取外します。

赤い点線で示した部分を削り取ります。(これはファンが当たる部分を切除するためです。LEDバルブ取付け後の作業でも可能です。)



① ノーマルバルブを外して、LEDバルブを取付けます。

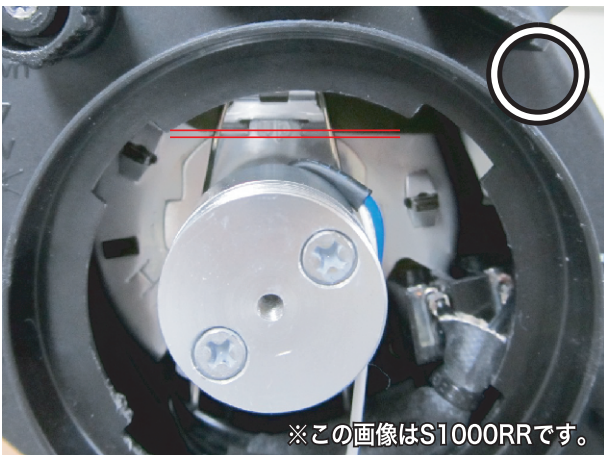
※LEDバルブはUPの刻印を上に向けて、LEDチップが3時と9時を向く様に取付けてください。



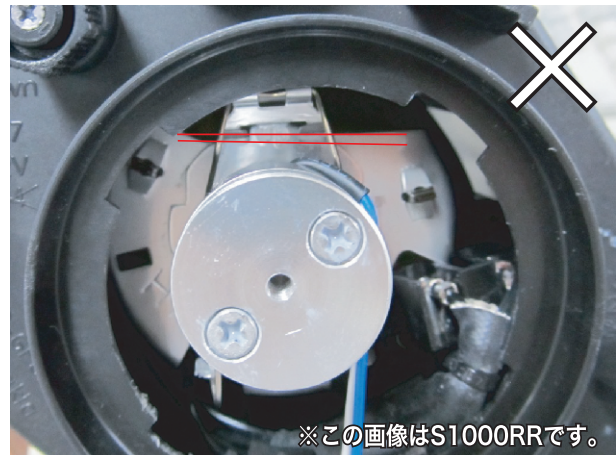
UPの刻印を上に向けて取り付けます。

※LEDバルブのフランジ部とヘッドライトのバルブ挿入部の金具が平行になる様に取り付けてください。(画像:左○)

左右どちらかに傾いた状態ですと正しい光軸が出ませんのでご注意ください。(画像:右×)

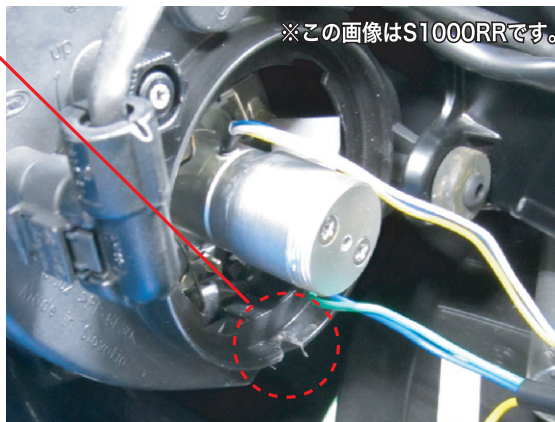


※この画像はS1000RRです。



※この画像はS1000RRです。

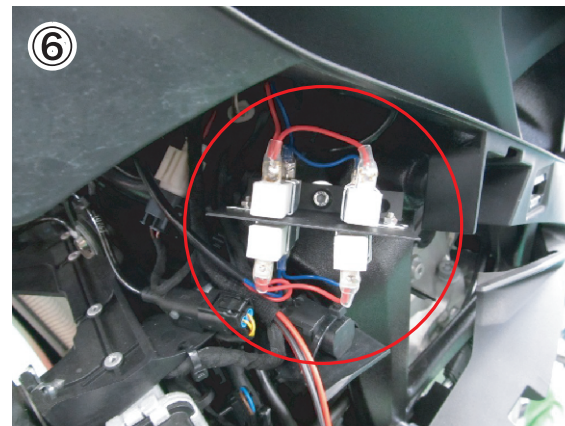
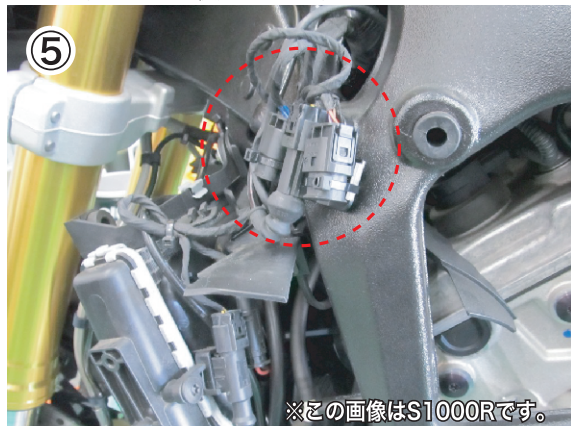
- ② 車両側ヘッドライトハーネスのカプラーとコントローラーのハーネスを接続します。
 ※コントローラー側の緑線(+)、青線(-)です。逆接続をしてもコントローラーは破損しませんが点灯しませんのでご注意ください。
 画像で示したヘッドライト側のリブをカットして配線の逃げを作ります。



- ③ ゴムキャップを取り付けます。配線は下方方向に出します。LEDバルブの後面にグリスをはみ出る位多めに塗ります。
- ④ ファンを3x8mmネジと歯付ワッシャーで取付けます。
 ⑤ コントローラーユニットはカウル内側などに貼り付けます。



- ⑥ 左サイドカウル内の3つのカプラーのマウントを外します。マウントからカプラーを外してハーネスに結束バンドで固定します。マウントは使用しません。
- ⑥ ⑤で外したカプラーマウントのM5トルクスネジを使ってキャンバステコーダを共締めして取付けます。

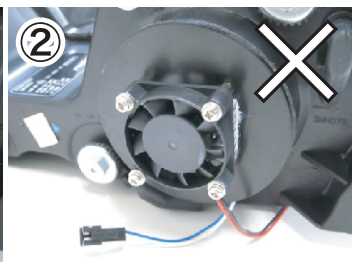
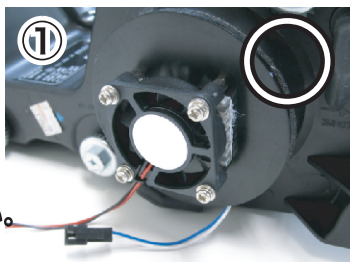


本取説表面の配線図に従って各カプラーを接続してください。配線は結束バンドなどで確実に固定してください。
 ※ハンドルを左右に切った時にコード類が引っ張られたり、たるみすぎない様配線してください。

防水冷却ファンの向きは指定があります。

画像①の様にシール面が外側を向く様に使用してください。
 シールはロットによって銀、黒、茶があります。

※画像②の向きでは絶対に取付けないでください。



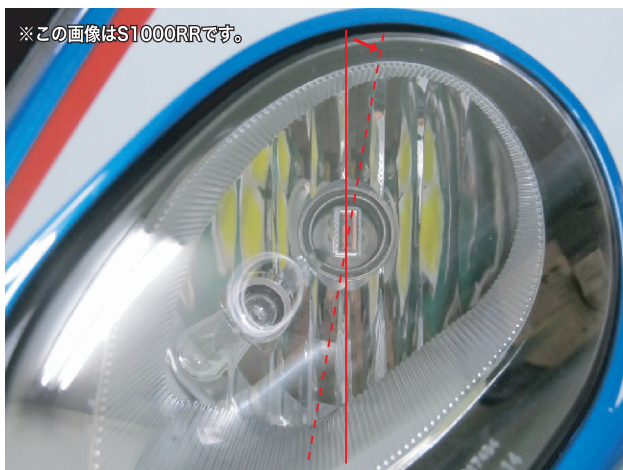
光軸調整のアドバイス

S1000XRのヘッドライトは左右方向の光軸調整が出来ません。上下方向のみ調整が可能となっております。
車両の個体差やLEDバルブの取り付け角度によっては光軸が左右にずれてしまう場合があります。
LEDバルブ自体を左右に回転させる事で微調整する事が可能です。

車検時のヘッドライト検査にあたって光軸調整を行ってください。
調整はLED対応のヘッドライトテスターのあるプロショップにて行ってください。
光軸が出ない場合や、対応設備が無く光軸調整が出来ないユーザー様におかれましては、
ノーマルバルブに戻して車検を受けてください。

●光軸が右にずれている場合の調整方法

下の画像を参考にLEDバルブを時計回りに回転させると
左に光軸が移動しますので中心に寄せる事が出来ます。



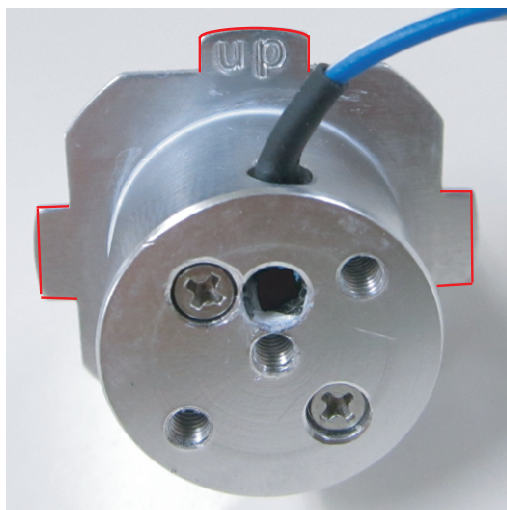
●光軸が左にずれている場合の調整方法

下の画像を参考にLEDバルブを反時計回りに回転させると
右に光軸が移動しますので中心に寄せる事が出来ます。



左右回転の調整範囲を拡大する場合は、
下の画像の赤い線で示した部分を削って小さくしてください

上下方向の光軸調整ネジ

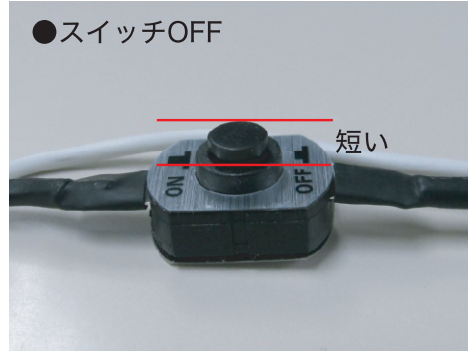


ON/OFFスイッチの動作説明

- スイッチはON（飛び出た状態）で導通し、Hi/Loの切り替えが可能となります。

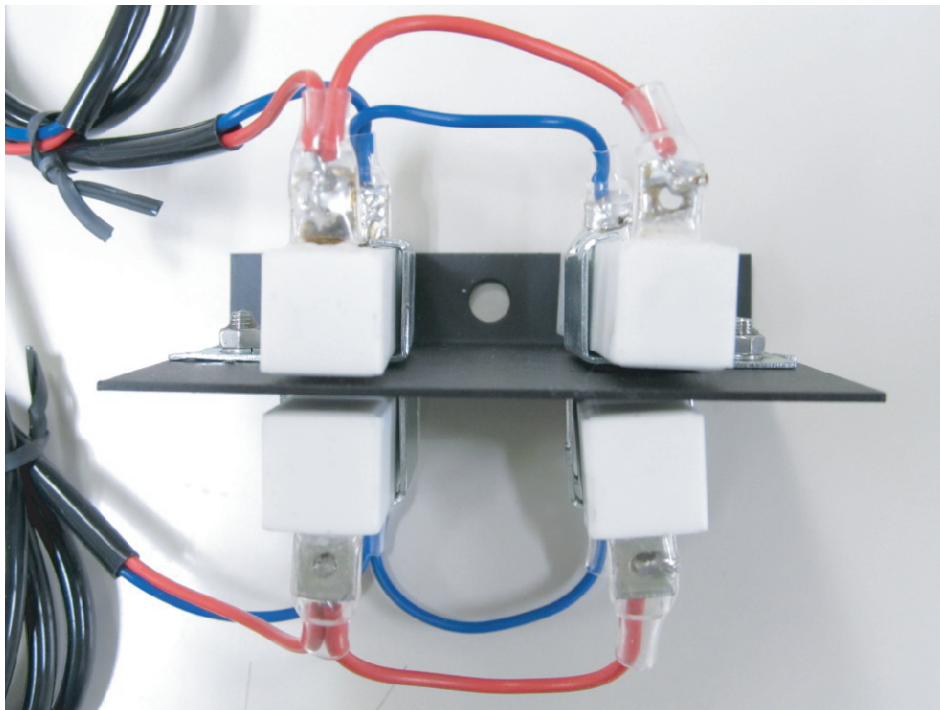
※LEDバルブ取り付け後の動作確認の際は必ずONになっている事を確認してください。

- スイッチOFF（凹んだ状態）の時に、Hiビーム側LEDバルブのHi/Lo切り替え機能がキャンセルされてノーマルと同じ点灯状態を再現出来ます。
走行シーンに合わせてON/OFFをお楽しみください。

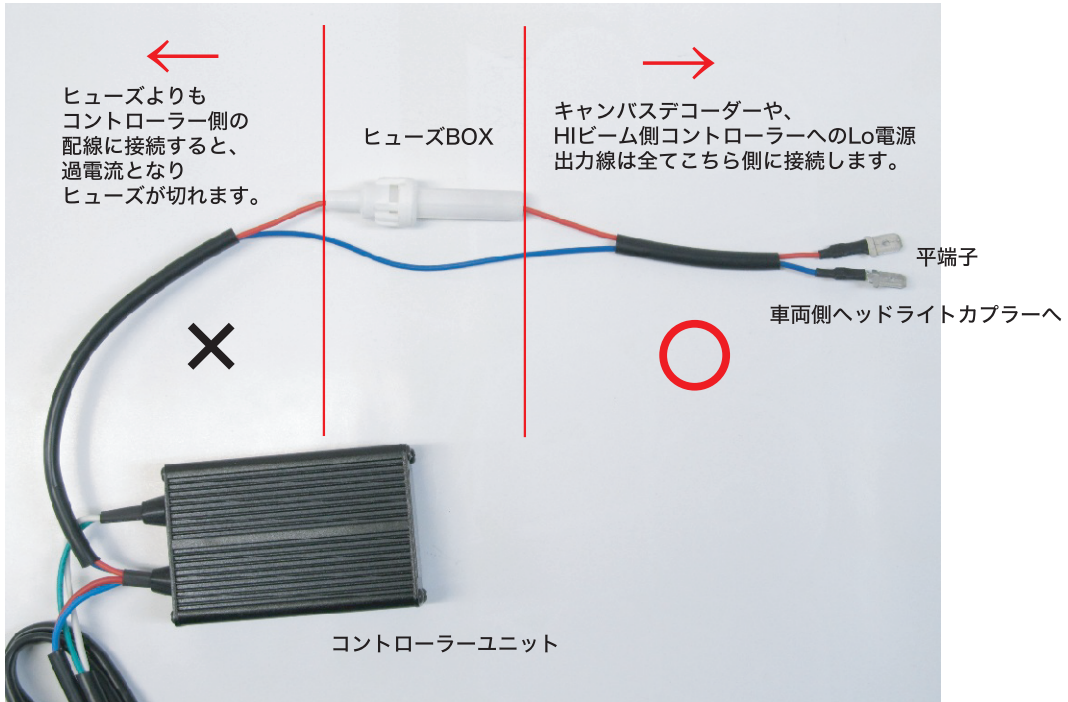


Hi、Lo両方LED取り付け時のキャンバスデコーダーについて

- キャンバスデコーダーはHi側、Lo側にそれぞれ必要です。
- Hi、Lo両方LEDバルブ装着時のキャンバスデコーダーは下の画像の様に、1枚のステーに対して上下に抵抗器を取り付けます。
片側のステーから抵抗器を取り外し、ステーを挟んでねじ止めします。
※余ったステーは使用致しません。



配線の補足説明(※重要)

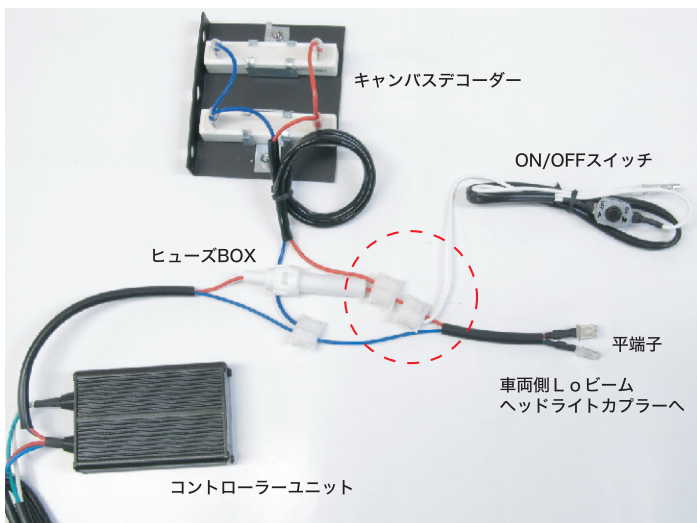


Loビーム2灯点灯の為のLoビーム側12v(+)電源線の取出し及び、
キャンバステコーダーの接続方法は、必ず上の画像の○印で示した
ヒューズBOXと平端子の間で行ってください。

画像の×印側(ヒューズBOXとコントローラー間)に接続した場合、
過電流が流れてしまい、ヒューズが切れて点灯不良が起こります。

ヒューズは3Aが入っております。
切れた場合は、必ず同じ3Aのヒューズに交換してください。

Loビーム側コントローラーの接続例



Hiビーム側コントローラーの接続例

